

大学における学修者本位の教育・学習支援の新たな改革に向けて
～ラーニング・アシスタント(LA制度)に関わる取組事例から～

Toward a New Reform of Student-centered Learning and Academic Support at
Universities: Focusing on Good Practices of Learning Assistant (LA)

■日時：2021年3月12日(金)10:00～12:30(13:00)

■場所：オンライン(Zoom)

※Zoomを最新バージョンにしてご参加してください

■言語：日英併用

■概要

中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(2018年11月26日)において、学修者が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学修成果を実感できる意義ある学習経験を生み出す教育・学習環境づくりを支援することが示されています。しかし、「学修者本位の教育」の主体的な学びを充実させるためには、各大学でさまざまな工夫を凝らし、国内外の新たな取組と多様な事例から学びながら改革を進めていくことが必要となります。

本研究会(国際フォーラム)では、アメリカの大学のなかでも先進的な取組を展開しているコロラド大学ボルダー校のスタッフからラーニング・アシスタント(LA)制度の紹介をいただきます。また、国内大学からも関連する事例・知見を報告いただきます。学修者本位の教育・学習支援に関わる教職員の皆さま、こうした活動にご関心・興味のある教職員、学生の皆さまのご参加をぜひお待ちしております。

■プログラム

司会、趣旨説明 蝶 慎一(広島大学高等教育研究開発センター)

10:00- 小林信一(広島大学高等教育研究開発センター長)(仮)

10:10-10:40 (コロラド大学ボルダー校のラーニング・アシスタント(LA)制度の紹介)

Valerie Otero(コロラド大学ボルダー校)

10:40-11:10 (アメリカの取組に対するインタビュー対談) 佐藤 万知(京都大学)

11:10-11:15 質疑応答1

11:25-11:45 授業への学生アシスタントの導入で何が変わったか?～成蹊大学QLAの事例から～(仮) 勝野 喜以子(成蹊大学)

11:45-11:55 「広島大学教育学習支援センターにおける教育・学習支援と学生スタッフ」蝶 慎一

11:55-12:05 「教育・学習支援者としての経験-授業支援を超えた学生スタッフの役割とその可能性の考察-」 川本 吉太郎(広島大学教育学習支援センター)

12:05-12:20 質疑応答2・総括ディスカッション

12:30-13:00 情報交換(自由参加)

■その他

・参加費は無料です。(定員:50名)申し込み締切は3月8日です。

・学習支援について興味のあることや質問したいことがございましたら、申し込みフォームの自由記入欄にご記入ください。

・その他詳細、および申し込みは以下センターHPをご覧ください。

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/2021/02/3-8-5/>

広島大学高等教育研究開発センター (RIHE)

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>

